

神がくれた「頭筆」の世界

独自の画法で個展 中央区

先天性脳性小児まひにより手足が不自由な深田隆さん(53)―神戸市中央区―は、頭に付けた筆で絵画や書などの作品を生み出す。その作品30点余りを集めた「頭筆家 深田隆の世界 神がくれたもの」が同区の賀川記念館で開かれている。

深田さんがヘッドギアに筆を取り付けて文字を書く「頭筆法」を編み出したのは、2002年に長男の直翔君(13)が生まれ、命名書を自分で書きたいと思ったことがきっかけという。現在、障害者たちが創作活動などに取り組む片山工房(神戸市長田区)に週

手足不自由な
深田隆さん



1回ほど通い、書道作品のほか、油絵やデッサン画も制作している。

今回の展示では直翔君を描いた油絵や、妻奈々子さん(43)の求めで「家族がいつもこの4文字で満たされるように」との願いを込めた書道作品「嬉笑愛菜」などを鑑賞できる。深田さんは「『神がくれたもの』という副題には、障害があるからこそ頭筆に出会えたという意味を込めた。自分が楽しく取り組んでいる頭筆をたくさんの方が見て、感想を言ってくれるのがうれしい」としている。

5月22日まで。月曜休館。午前10時〜午後4時半。毎週土曜日午後は、深田さんも来場する予定。入場無料。問い合わせは賀川記念館(078・221・3627)。(吉川真布)

展示作品の前で笑顔を見せる深田隆さん―神戸市中央区の賀川記念館

神戸

神戸市認可



神戸善光寺
永代供養納骨塔

霊碑で供養する新しいお墓

一霊40万円(墓庫費8,000円) 宗旨宗派は永代供養 霊魂製作 彫刻費込み 問いません

神戸善光寺 検索

www.kobe-zenkoji.jp/

TEL 078-851-0400

神戸市中央区北長狭町1-1-1